

自衛隊山梨地本便り

採用予定者説明会を開催

山梨地方協力本部は、12月8日(日)令和2年3月末に入隊予定の採用予定者及びご家族に対する説明会を実施しました。

本説明会は、入隊に際しての心配や不安を少しでも軽減して頂くために行っており、今回は、19家族約70名の採用予定者及びご家族が集まりました。

冒頭、新宅本部長から教える職業の中から自衛隊を選択して頂いたことに謝意を述べ、見事、選抜試験に合格されたご本人とご家族にお祝いの言葉を贈りました。その後、自衛隊の概要を数字で説明するとともに、平素の自衛官の仕事とその種類、福利厚生、入隊から教育隊での生活をビデオで紹介しました。続いて、陸・海・空自衛隊、女性のグループに分かれ、北富士駐屯地所属の20歳前後の隊員も加わって、フリートーク方式で懇談を行いました。

意見交換では、「入隊案内に記載されていない内容で準備した方がよいものはないか」「スーツで入隊した方がよいのか」「私服は何着ぐらい用意すればよいか」「職場での男女の比率はどうか」「腕立てが全くできないけれども大丈夫か」「勤務地はどのように決まるのか」「長期休暇はどれくらいの期間もらえるのか」「長期休暇時は帰省できるのか」等、次々と質問が出されました。北富士駐屯地



から参加した隊員からは、「訓練等を含めて教育時は常時装着し、行動も時間で統制されるため、腕時計は防水機能のついたデジタル時計が利便性が高い」「今年の年末年始休暇は途中で勤務日はあるが、全部で3週間くらい取得する」「地元が遠い隊員には帰省し易い環境が提供されている」、「腕立てに関しては、私も全く出来なかったが、教育隊における訓練によって出来るようになった」等の回答があり、参加したご家族も安心したようでした。

山梨地方協力本部は、今後も入隊するまでに確認したいこと、不安に感じている内容について、事の大小に拘わらず、懇切丁寧に対応させて頂き、皆さんに安心して入隊して頂けるよう努力して参ります。

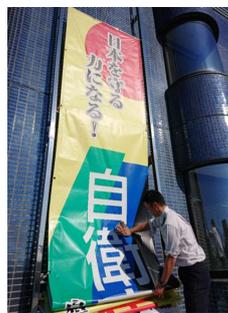


自衛官募集懸垂幕を清掃

山梨地本は、12月16日(月)自衛隊山梨同友会に設置されている自衛官募集の懸垂幕を清掃しました。

この懸垂幕は、同協会の募集力活動の一環で作成設置していただいているものです。

当日は、山梨地本の本部職員と甲府募集案内所の広報員計2名で1年の感謝を込めて汚れを落としました。作業後、きれいになった懸垂幕を



入隊予定者に対する部隊研修を実施

山梨地本は12月16日(月)令和2年3月末の入隊予定者11名に対し、駒門駐屯地の部隊研修を実施しました。

午前中は、駒門駐屯地の概要、平成30年度末に新編された機甲教導連隊発足までの経緯等について説明を受け、その後、銃剣道大会に向け練習中の大原専門学校卒業生である衛生科と施設科2名の隊員との懇談を行いました。入隊予定者からは、「入隊して体力的にきつかったことはないか」「入隊前にやっておくべきことは」「消防官を目指しているが、消防の試験のための勉強時間や試験日における帰隊時間の便宜の有無は」などの質問があり、これに対して「入隊して最初の一ヶ月は生活リズムに慣れない等きつかった。体力面では特別な準備はしなかったが徐々にレベルが上がって行ったので問題なかった」「消防の勉強も日に三時間程度は割当て可能」「准看護師課程に入校予定であり、同課程で救急救命士の資格も取得できることから、消防官採用試験に有利に働くと考えられている」「試験日は予め申告してお

けば九割以上勤務や着隊時間も配慮してもらえ」等の回答がありました。その後、敵航空機等を迎撃する対空ミサイル及び車両保安検査を行う整備工場を見学しました。

午後からは、隊員食堂でメニューのある昼食を体験喫食した後、隊員の福利厚生を支える業務隊を研修しました。その後、施設科、通信科、衛生科、会計科及び野戦特科の隊員と懇談を行いました。懇談は、入隊予定者が希望する職種を希望の職種に配置されるのか、「職種にお



21番手

山梨県出身隊員紹介

海上自衛隊 狐崎 諒

◇ 出身校：都留文科大学

◇ 入隊して良かった事：明らかに身体が絞れていることが実感できます。美味しい食事と適度な運動が毎日できるので、この生活を続けると、とても健康になれると思いました。

◇ 入隊して苦労した事：入浴、食事の時間が短いことです。

◇ 今後の目標：身の回りのことを完璧にできるようになり、同期の仲間と頑張っていきたいです。

◇ 先輩への一言：様々なイベントや競技会が行われ、とても楽しく充実した毎日です。

山梨地本は、12月19日(木)海目横須賀基地で行われた横須賀基地ツアーに募集対象者6名を引率しました。

午前中は、会議室において概要説明が行われ、海上自衛隊の組織や任務等の説明を受けました。続いて、現役隊員との懇談が行われ、艦艇勤務の経験がある隊員に対して、参加者は入隊を前に気になっていることを質問していました。

午後は、横須賀港内を巡る体験航海が行われました。参加者はタグボートに乗り込み、隊員から停泊している艦艇や施設等の説明を熱心に聞いていました。最後に、護衛艦「いかづち」の艦内見学が行われました。艦橋を始め、操縦室、居住区、浴室、

皆様が、不安を抱いたまま入隊される、30分の予定であった懇談は45分に延長され、入隊予定者は満足した様子でした。最後に90式戦車と最新の10式戦車を見学し、今回の部隊研修を終りました。

参加者からは、「広報官の説明が本当であることを実感した」「貯金の金利が銀行よりも随分と高い利率であることを確認できて良かった」「将来は機甲科に進みたいと考えているので大変参考となった」等の感想が寄せられました。

山梨地本は、今後も入隊予定者の皆様が、不安を抱いたまま入隊される、30分の予定であった懇談は45分に延長され、入隊予定者は満足した様子でした。最後に90式戦車と最新の10式戦車を見学し、今回の部隊研修を終りました。

また、自衛隊に関心があり、今後受験を予定している皆様に対する部隊研修や体験搭乗等も地本HPやツイッター等で案内していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



横須賀基地ツアーに募集対象者を引率

山梨地本は、12月19日(木)海目横須賀基地で行われた横須賀基地ツアーに募集対象者6名を引率しました。

午前中は、会議室において概要説明が行われ、海上自衛隊の組織や任務等の説明を受けました。続いて、現役隊員との懇談が行われ、艦艇勤務の経験がある隊員に対して、参加者は入隊を前に気になっていることを質問していました。

午後は、横須賀港内を巡る体験航海が行われました。参加者はタグボートに乗り込み、隊員から停泊している艦艇や施設等の説明を熱心に聞いていました。最後に、護衛艦「いかづち」の艦内見学が行われました。艦橋を始め、操縦室、居住区、浴室、

皆様が、不安を抱いたまま入隊される、30分の予定であった懇談は45分に延長され、入隊予定者は満足した様子でした。最後に90式戦車と最新の10式戦車を見学し、今回の部隊研修を終りました。

また、自衛隊に関心があり、今後受験を予定している皆様に対する部隊研修や体験搭乗等も地本HPやツイッター等で案内していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

